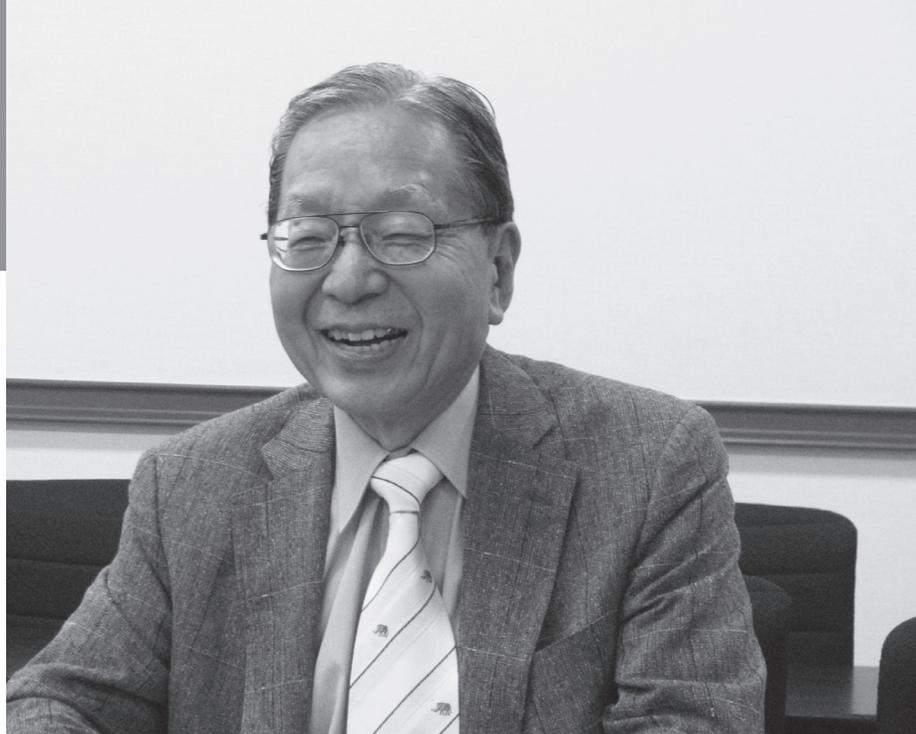


女子栄養大学 副学長
香川靖雄先生



地域でこそできる研究に 大きな意義がある

聞き手：山田隆司 地域医療研究所長

戦後の困難な時代に医師を目指して

山田隆司(聞き手) 今日女子栄養大学副学長の香川靖雄先生を、駒込キャンパスにお訪ねしました。先生は私が自治医科大学在学中、生化学の教員としていらっしゃいましたが、先生が自治医大に赴任された経緯、また先生は医学教育、国試対策にも関わっていらっしゃいましたので、そのお話などをお聞きできればと思います。

香川靖雄 この女子栄養大学というのは私の両親が創設したもので、皆さん、最初から跡継ぎになるのだろうということを想定されるのですが、私は戦争の大変な時代に生まれたのです。ですからあのころの小学生というのは、今では信じ難いことかもしれませんが、みんな軍人になることを考えていたのです。当時キャンパスは今の駒込と千石にありましたが、全国から学生が集まってきていました。そこへ戦争が激し

くなって昭和20年4月13日の空襲で校舎も、寮も、自宅も全部焼けてしまったのです。ところが戦前は栄養士の養成校というのはほとんどなかったので大変貴重でした。戦争末期になると毎日のように空襲があって、家族を失った人たちに三度の食事を出さなければいけない。そこに一人でも栄養士がいて大量炊事が指導できたら大勢の人が助けられるというので、校舎が焼けたあとも、軍と政府は学校を閉鎖することを許さなかったのです。しかし補助金も代わりの校舎もないので、群馬県の赤城山麓へ先生と学生、みんなで移動して農家の2階の蚕室に寝泊まりさせてもらって授業を続けました。

その時に育った当校の学生は戦後大活躍しました。昭和21年に今の国民健康栄養調査が始まり総動員されました。学校給食を始めるにあたっ

でも学校給食を指導できる人は引っぱりだこでした。それだけでなく、国民の栄養所要量も米軍の命令で作ることになったのです。

私自身は、前橋中学(群馬県立一中)に毎日山を下りて通っていました。そこで終戦を迎えるのですが、それまで軍人になることしか考えてなかったので人生の目標を失った感じでした。そして父が過労で、群馬県で亡くなってしまいました。戦後母は学校を再建するために奔走し、千石に仮校舎を建てて短期大学を開設しました。私はその2階に住んで小石川高校に入学しました。

学校再建には母は多大な借金をしたのですが、当初定員100人のところ20人しか学生が集まらず借金が返せないのです。ところが当校が出版している「栄養と料理」という雑誌が爆発的に売れたのです。食糧難でさらにトウモロコシの粉などアメリカの食物は料理のしかたが分からないので、そういうことを掲載したのがよかったです。当時は紙も配給制でしたが、政府が「栄養と料理」に紙をまわしてくれたのです。それで辛

うじて返すことができました。

その後学生が増えて学校の経営が安定してきたので、昭和28年に私は東京大学の医学部へ入りました。東大の医学部は立派な先生が多く、当時、沖中重雄教授の第三内科が一番評判でした。自治医大創立に尽力された沖中教授、中尾喜久学長、高久史磨学長はじめ多くの先生が第三内科のご出身でした。私の父は第一内科の講師だったので私が一内に入るものと周囲は思ったようですが、私は米国で学びたいと思っていました。ちょうど卒業の昭和32年に聖路加国際病院の本館を米軍が返還してくれたという素晴らしいニュースが入ってきたのです。それで聖路加国際病院に入り、そこに日野原重明先生が米国留学から内科医長として帰国されたので、病院宿舎に泊まり、私は朝から晩まで、日野原先生に内科学をすごされました。

山田 いわゆる研修医のような形ですね。

香川 そうです。

米国の教育システムを自治医大に導入

香川 その後私はメディカルドクターとしての修業を、東京の下町の貧しい中小企業の年次の集団健診などのアルバイトをしながら東大大学院へ入り島菌順雄教授の下で生化学の研究を始めました。その時に私にとって大きな転機があったのです。それは英国のピーター・ミッチェル先生の論文で、ミトコンドリアは膜を介した水素イオンの濃度勾配を利用してATP合成酵素によってADPをリン酸化してATPを作るという化学浸透説が提唱されていました。これに非常に感銘を受けて、私は生涯その研究に従事することになりました。残念ながら、ミッチェル先生は自宅で研究さ

れていて、留学はできません。そこで大学院卒業後、フルブライト・プログラムに合格して、米国のコーネル大学のラッカー教授のところへ行きました。ビザの制限で一度帰国するのですが、2度目は客員教授として教育にも携わりました。そして帰国した頃にちょうど新設医大ブームで、自治医科大学創設にあたり声をかけていただいたわけです。

山田 先生は自治医大の生化学の教授として着任されたわけですが、医学教育にも関わられていましたよね。

香川 そうです。米国の医学部というのは4年制